



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和 8 年 1 0 月 1 5 日（木） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
健康推進課	がん・受動喫煙対策係	横山	内線 3371 直通 058-272-8172 FAX 058-278-2551

令和 8 年度がん対策推進功労者表彰（知事表彰）の表彰式を行います

県では毎年、がん対策において顕著な功績を挙げた個人又は団体を対象に、がん対策推進功労者表彰（知事表彰）を実施しています。

このたび、令和 8 年度の受賞者を決定し、下記のとおり表彰式を行いますのでお知らせします。

記

- 1 日 時 令和 8 年 1 0 月 2 1 日（水） 1 5 時～1 5 時 3 0 分
- 2 場 所 県議会棟 1 階 第 1 会議室①
- 3 受賞者 4 名（別添のとおり）
- 4 贈呈者 健康福祉部長 なかにし ひろゆき 中西 浩之

【表彰の概要】

○目的

対がん活動において顕著な功績を挙げた個人又は団体をたたえ、他の模範とすることで、がん対策事業を推進する。

○基準

個人の場合 2 0 年以上、団体の場合 1 5 年以上、対がん活動を行っていること 等。

○実績

平成 1 0 年度以降、昨年度までに個人 6 9 人を表彰している。

氏名ほか	小野江 雅之（おのえ まさゆき） 診療放射線技師 56歳 居住地：大垣市 現在の役職等：岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 岐北厚生病院 診療放射線技師長		
受賞理由	平成3年5月に養老中央病院（現西美濃厚生病院）へ入職し、以降、中濃厚生病院、揖斐厚生病院及び岐北厚生病院の各施設で通算35年6か月勤務し、放射線業務を通じて地域の結核予防及びがん対策に大きく貢献した。 平成7年度から岐阜医療技術短期大学（現岐阜医療科学大学）の学生を臨床実習生として受け入れ、インフォームド・コンセント、医療被ばく管理、患者接遇等について幅広く指導した。 平成18年4月から岐阜県超音波研究会世話人を3年間、平成22年4月から同会西濃支部（現公益社団法人岐阜県診療放射線技師会西濃地域）の役員を8年間務め、超音波検査技術の向上、研修会の企画立案及び講師招聘等を通じて、会員の資質向上と会の発展に尽力した。 令和5年、地域医療構想を踏まえた西濃厚生病院と揖斐厚生病院の統合・集約化に携わった。集約後の西美濃厚生病院が予防医療、回復期医療及び地域連携を担う中、最新鋭のMRI装置への更新を手掛け、高額医療機器の共同利用推進に貢献した。		
過去の表彰歴	平成27年 5月	（公財）岐阜県教育文化財団	結核予防事業功労者
	平成29年 9月	（公財）岐阜県教育文化財団	がん対策推進功労者
	令和 5年 6月	（公社）岐阜県診療放射線技師会	永年勤続30年表彰
	令和 5年 9月	（公社）日本診療放射線技師会	永年勤続30年表彰

氏名ほか	尾関 裕一（おぜき ゆういち） 診療放射線技師 57歳 居住地：各務原市 現在の役職等：美濃市立美濃病院 医療技術局長兼放射線室技師長				
受賞理由	平成3年5月にJ A岐阜厚生連岐北総合病院（現岐北厚生病院）へ入職し、その後、久美愛厚生病院及び岐北厚生病院で、日常診療、休日・夜間の救急医療、各種検査及び健診業務に従事し、地域の公衆衛生とがん対策に尽力した。 平成5年から岐阜医療技術短期大学（現岐阜医療科学大学）の学生を臨床実習生して受け入れ、教育・指導を行った。また、実習担当者として予防医学を含む指導内容の立案にも携わった。 平成13年6月から4年間、X線CT研究会世話人として後進の指導及び資質向上に努めた。平成20年6月から2年間は支部理事として会員の育成と支部の発展に尽力し、令和4年からは超音波研究会担当理事として超音波検査技術の普及・向上に努めた。 平成27年4月に美濃市立美濃病院へ技師長として入職し、平成30年には健康管理センターの新設に参画した。画像診断装置の選定・導入や健康診断事業の開始に向けた地域住民への啓発活動を行い、受診率の向上と疾患の早期発見に尽力した。 平成30年から健診業務において、診療放射線技師の業務である「読影の補助」の立場から健診画像の読影医を支援し、がん対策の推進に貢献している。 令和6年からみの健康管理センター技師長として、美濃市のがん検診、地域住民の健康増進に向けた啓発活動及び企業の安全衛生委員会への助言等に取り組み、地域の健康増進に貢献した。 令和8年から美濃市立美濃病院の医療技術局長兼放射線室技師長に就任し、医療技術局全体を統括する立場から、予防医療の一層の推進に取り組んでいる。				
過去の表彰歴	平成25年	3月	社団法人岐阜県放射線技師会	支部功労	
	令和2年	1月	中濃公衆衛生協議会	公衆衛生功労	
	令和4年	6月	(公社)岐阜県診療放射線技師会	永年勤続30年表彰	
	令和4年	9月	(公社)日本診療放射線技師会	永年勤続30年表彰	
	令和4年	11月	(公財)岐阜県教育文化財団	がん対策推進功労者	
	令和8年	2月	(一社)岐阜県医師会	公衆衛生功労者	

氏名ほか	糟谷 幸徳（かすや ゆきのり） 診療放射線技師 58歳 居住地：美濃加茂市 現在の役職等：社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院 課長		
受賞理由	平成2年3月に木澤病院（現中部国際医療センター）へ入職し、一般撮影、X線CT及び核医学検査に従事した。平成4年度からは健康管理センターで胸部X線撮影、胃X線検査及び腹部超音波検査に従事しがんの早期発見を通じて地域医療に貢献した。 平成6年から心臓カテーテル検査に従事し、近隣地域の循環器医療に貢献した。 平成7年から臨床実習指導者として、岐阜医療科学大学、鈴鹿医療科学大学、名古屋大学、藤田医科大学等の学生を受け入れ、教育・指導を行った。平成23年には臨床実習指導教員の認定を取得し、実習計画の立案も担っている。 平成9年「診療画像検査法 MR検査の実践」、平成11年「造影CT検査の実践的活用」、平成16年「臨床医学概論」、平成23年「MRの実践—基礎から臨床まで—」、平成26年「画像解剖学」において症例等を分担執筆し、自己研鑽を通じて安全・安心な医療の提供に努めている。 平成12年から15年間、岐阜県MR技術研究会の世話人を務め、会員の教育・育成に尽力した。また、令和2年度から2年間、同会理事を務め、コロナ禍におけるWeb開催を通じて中濃地域会員の資質向上と会の発展に貢献した。 平成13年7月、中部療護センターの開設に伴いMRI検査専従となった。1.5T及び3Tの高磁場MRI装置を用い、担当者が変わっても再現性の高い検査が行えるよう、脳腫瘍及び高次脳機能に特化した撮像手順を構築した。 令和4年1月の中部脳リハビリテーション病院への改称後も、岐阜大学大学院医学系研究科の連携分野と協力し、脳腫瘍及び高次脳機能に関する診療・臨床研究において、安定した高品質な画像の提供に努めている。		
過去の表彰歴	平成20年 3月	社団法人岐阜県放射線技師会	支部功労
	平成28年12月	中濃公衆衛生協議会	公衆衛生功労
	令和 3年 6月	（一社）岐阜病院協会	永続勤続30年表彰
	令和 3年11月	（公社）日本診療放射線技師会	永年勤続30年表彰
	令和 5年 9月	（公財）岐阜県教育文化財団	がん対策推進功労者

氏名ほか	小田 祥資（おだ ひろし） 診療放射線技師 58歳 居住地：土岐市 現在の役職等：医療法人知真会 伊藤内科
受賞理由	平成2年4月から土岐市立総合病院に入職し、日常診療、休日・夜間の救急医療及び各種検査業務に従事し、地域の公衆衛生とがん対策に尽力した。 平成6年から岐阜医療技術短期大学（現岐阜医療科学大学）の学生を臨床実習生として受け入れ、土岐市立総合病院退職までの28年間、臨床実習指導者として学生の育成に尽力した。 平成19年6月から平成29年5月まで、（社）岐阜県放射線技師会岐阜県X線CT研究会（現（公社）岐阜県診療放射線技師会X線CT研究会）の世話人として、県内施設間の情報共有や学術活動、会員の育成に尽力した。また、平成24年6月から平成26年5月まで同会東濃地域土岐地区の理事を務めた。 平成24年にX線CT認定技師、平成25年に救急撮影認定技師の認定を取得し、現在まで更新を継続している。検査技術の維持・向上と疾患の精細な描出に努め、安全・安心な医療を提供している。 令和4年1月から医療法人知真会伊藤内科に勤務し、関連施設の有料老人ホームにおいて、がん終末期の入居者等を対象とした放射線検査業務に従事している。
過去の表彰歴	令和3年 6月 （公社）岐阜県診療放射線技師会 永年勤続30年 令和3年11月 （公社）日本診療放射線技師会 永年勤続30年 令和5年 9月 （公財）岐阜県教育文化財団 がん対策推進功労者